

●第76回数理社会学会大会の報告申し込みについて (Call for Papers)

第76回数理社会学会大会は、2024年3月16日(土)、17日(日)の日程で大阪大学吹田キャンパスにて開催されます。

- ・現地開催を目指して準備しておりますが、社会情勢によっては変更の可能性もあります。オンラインに変更の場合、提出資料や報告形態の詳細が異なってくる場合があります。その際にはあらためてご連絡をいたします。
- ・なお現地開催の場合も、人的接触を削減するために、大会参加費は原則的に事前振込による受付とします。ご協力をよろしくお願いいたします。
- ・現地開催の場合、懇親会は実施します。

研究報告を下記の要領で募集します。下記の注意事項等を良くお読みの上、奮ってご応募ください。なおおむね大会1か月前に学会ウェブページでプログラムが公開されます。

1. 募集する報告・企画

(1)「自由報告」の申込期間は **【修正】2024年1月10日(水)～1月26日(金)(必着)** です。

- ・ 自由報告への応募は、後日事前参加登録を行い参加費を納めることが条件です。
- ・数理・計量社会学あるいはそれと関連する研究領域のなかで、報告者が自由にテーマを選んで報告するものです。
- ・報告形態は口頭発表のみで、発表15分、討論10分です。英語で報告することができます。
- ・ 学会ホームページの大会報告申し込みのフォームに記入、送信し、「報告要旨」を大会報告申込フォーム上に提出することで正式の申し込みとします。学会ホームページの「Call for Papers」ファイルを熟読のうえ、報告申込と報告要旨の作成をお願いいたします。報告の概要と報告要旨では、すくなくとも「目的・方法」と「結果・考察」に分けて、それぞれ明確に記述してください(報告要旨の節タイトルは変更可)。
- ・ 登壇者がウェブ上の大会報告申込フォームに記入し、報告要旨ファイルを大会報告申込フォーム上に提出してください。 報告申込フォームに記入された報告概要は事前に学会ウェブサイトで公開されます。報告要旨は大会期間中に大会参加者に向けて公開される報告要旨集に収録されます。
- ・ 提出期限は日本時間の【修正】1月26日(金)23時59分59秒です。提出期限を過ぎた申込は一切受け付けません。

(2)「萌芽的セッション報告」の申込期間は **【修正】2024年1月10日(水)～1月26日(金)(必着)** です。

- ・ 萌芽的セッション報告への応募は、後日事前参加登録を行い参加費を納めることが条件です。
- ・萌芽的なアイデア、厳密な定式化には至っていない発展途上の研究などをポスター形式で報告し、オーディエンスとのやりとりを通して発展させることをねらいとします。
- ・報告形態はポスターのみです。最大A0判が利用可能です。英語で報告することができます。
- ・報告申込数が多い場合、セッションを大会1日目と2日目に分割する2部制を実施する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 学会ホームページの大会報告申し込みのフォームに記入し、送信することで正式の申し込みとします(報告要旨は提出不要)。学会ホームページの「Call for Papers」ファイルを熟読のうえ、報告の申込をお願いいたします。タイトル、報告の概要が報告要旨集に記載されます。
- ・ 提出期限は日本時間の【修正】1月26日(金)23時59分59秒です。提出期限を過ぎた申込は一切受け付けません。

- ・登壇者は、ウェブ上にある大会報告申込フォームに記入して、送信してください。

(3)「会員発案の特別企画」の申込期間は **2023年12月18日(月)～12月29日(金)(必着)** です。

- ・ 会員発案の特別企画への応募は、発案者が会員であり、かつすべての登壇予定者が、後日参加登録を行い参加費を納めることが条件です。

- ・「会員発案の特別企画」は、課題を設定した部会の編成など、自由報告とは異なる研究報告の企画案を募集するものです。「企画書」を提出することで正式の申し込みとします。企画書の作成方法については、学会ウェブサイトで公開されている募集要項を参照ください。
- ・代表者が書類を、**研究事務局**に電子メールで提出してください。
- ・**提出期限は日本時間の12月29日（金）23時59分59秒です**。提出期限を過ぎた申込は一切受け付けません。
- ・採否が研究活動委員会にて審査されます。

2. 報告申込の注意事項（各報告共通）

- (1) 発表日時に関する要望、申し込み後の共著者の追加・変更、タイトルの変更には応じられません。
- (2) 1人が登壇できるのは、「学会賞受賞講演」「シンポジウム」など特別企画を除き、原則1回とします（ただし、自由報告と萌芽的セッション報告の登壇は両方できます）。
- (3) 報告要旨は大会前から大会期間中にかけて、ウェブ上で公開します。そのため、カラーのグラフや画像にも対応可能です。
- (4) 形式が著しく不備である場合、あるいは内容が著しく不明瞭あるいは学会の趣旨から乖離している場合、自由報告から萌芽的セッション報告に移動をお願いしたり、受理されない可能性があります。

3 申込先

報告希望の方は、学会ホームページから、大会報告申し込みのフォームにご記入いただき送信してください。自由報告については、報告要旨を大会報告申し込みのフォームにアップロードしてください。

- ・「会員発案の特別企画」申込先・受付確認メールが届かない場合の連絡先（研究事務局）

〒600-8234 京都府京都市北区等持院北町 56-1

立命館大学産業社会学部

金澤悠介

075-466-3166

E-mail : jams.research[at]gmail.com

※メールアドレス内の[at]は@に置き換えてください。

【下記の注意事項をご確認ください】

自由報告申込書 注意事項

(1) 提出方法

・登壇者は学会ホームページの報告申し込みのフォームに記入し、報告要旨 (Word ファイルなど)、ウェブ掲載用の報告要旨の版下 (PDF ファイル) の2つを、申し込みフォームの指示にしたがって、報告申し込みのフォーム上にアップロードして、フォームを送信してください。

(2) 報告要旨作成要領

・報告形態は口頭発表のみです。報告要旨は大会の2週間ほど前から大会期間中に学会ホームページで公開されます。見本ファイルを参照し、以下にしたがって作成してください。見本ファイルに上書きしても結構です。

・著者校正はありません。

(ア) サイズと分量：A4判モノクロ。2ページか4ページのどちらかのみ（図表含む）。

(イ) レイアウトとフォント：上下30mm，左右20mmの余白。1段組。ページ番号は記入しない。原則として日本語は明朝体，英数字は Times New Roman 体。1ページ目は以下のとおり。

1行目：タイトル（18ポイント）

2行目：サブタイトル（あれば）（14ポイント）

3行目：空白

4～5行目：氏名，所属。発表者が複数の場合，登壇者氏名の先頭に○印（12ポイント）

6行目：空白

7行目以下：本文（節タイトルはボールド12ポイント，本文は10.5ポイント）

(ウ) 言語：日本語または英語。

(エ) 研究事務局で形式を整えることがある。

【下記の注意事項をご確認ください】

萌芽的セッション報告申込書 注意事項

(1) 提出方法

・登壇者が学会ホームページの報告申し込みのフォームに記入し、送信してください。 報告要旨原稿と報告要旨印刷用版下は不要です。

(2) ポスター作成要領

・報告形態はポスターのみです。以下にしたがってポスターを作成して、ご持参ください。

(ア) 最大で A0 判（横 841mm，縦 1189mm）のスペースが利用可能。ただし，最大の大きさである必要はない。

(イ) ポスターには，発表者全員の氏名・所属と，タイトルを記載。

(ウ) 日本語または英語で作成。

(エ) ポスターの貼りつけには画びょうあるいはセロハンテープ使用（いずれも開催校が用意）。